

一緒に活動する仲間を募集しています!!



# 「こんな芦屋がいいな」

地域のイベント等で「願いのリンゴの木」に寄せられた皆さんの意見を紹介します。

地域福祉アクションプログラム推進協議会って…?

～笑顔でつなぐ芦屋をめざして～

私たち地域福祉アクションプログラム推進協議会は、市民・民間・市が協働して、「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせをつくるために地域福祉活動を続けています。

日頃のちょっとした困り事を解決するためにできることや、したいと思ったことに「アクション」を起こして、住みよい芦屋をめざし、取り組んでいきます。

みんなが楽しく元気に暮らせる町

にこにこ芦屋

子育てが楽しくできる町に

笑顔がいっぱいで助け合える町

助けて欲しい時にすぐ誰かが来てくれる町がいいな

みんなが笑っている町

誰とでもあいさつできる

安心安全に住める災害に強い町になってほしい

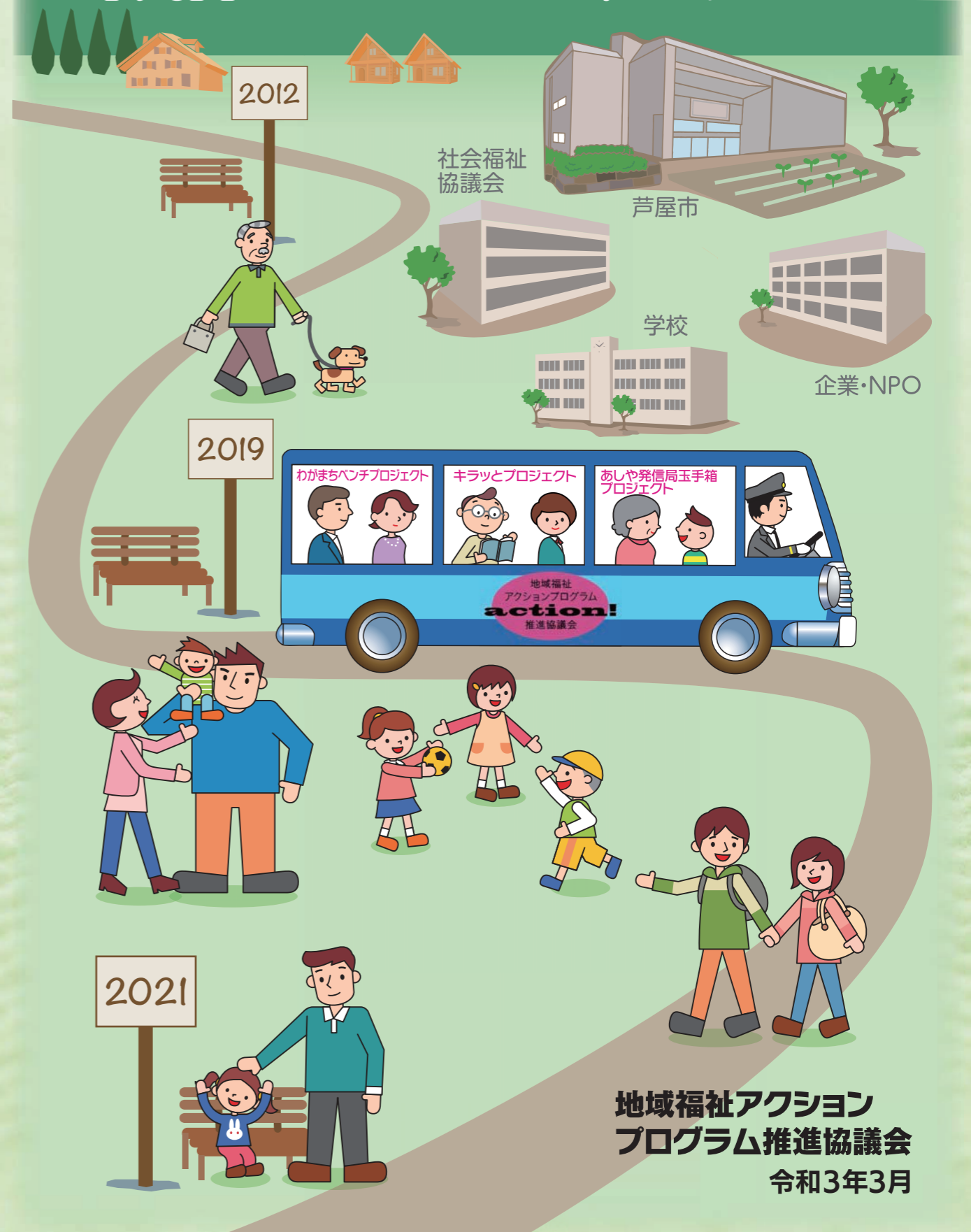
ご近所みんなできてる町

●お問い合わせ

地域福祉アクションプログラム推進協議会事務局  
芦屋市社会福祉協議会 〒659-0051 兵庫県芦屋市呉川町14-9  
TEL0797-32-7530 FAX0797-32-7529  
ホームページ <https://ashiya-shakyo.com>

## 地域福祉アクションプログラム

# ～市民自らがアクションを起こすために～



地域福祉アクションプログラム推進協議会  
令和3年3月

# 地域福祉アクションプログラム 令和元年度から2年度の活動報告

2017年度に第3次芦屋市地域福祉計画の実施がスタートし、新体制で発足した協議会が4年を経過しました。

2020年度は当初より新型コロナウイルス感染症の影響で活動が大幅に制限され、年度の初会合が8月になるという状態でした。

人が集まるということが困難な状態ではありましたが、学生ボランティアによる地域のスマホ講座を始め、制限がある中でも可能な活動を探っていました。

また、宮川幼稚園とエルホーム芦屋の交流に参加し、双方の橋渡しとなる役割を見出し、これを端緒に様々な団体同士の橋渡しとなるような活動にも取り組んでまいります。

地域福祉アクションプログラム推進協議会は、市民・民間・市が協働して活動をする画期的な団体であると考えます。これからも楽しみながら取り組める地域福祉活動を進めてまいりますのでご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。



会長 山内祥弘

## アクションアワード vol.5 ～わたしのまちがいちばん！～

身近な地域での居場所や社会参加など、人と人とのつながりを広げる活動をされている団体等に活動の紹介と表彰を行う「アクションアワード」を開催しています。

令和元年7月27日に「あしや保健福祉フェア」で第5回アクションアワードを開催し、地域で積極的に活動されている方々に実践報告をしていただき、表彰を行いました。

また、地域支え合い推進員からのショートドラマ「地域支え合い推進員って…?」の披露や、学生ボランティアによる「スマホカフェ」を開きました。

### 表彰

「みんなが笑顔になれる学校応援団！」

精道小 smile ねっと

「またあした」も誰かがそばにいるように

またあした広場

「この町で夢や希望を描けるように」

Facebook グループ芦屋のことなら何でも告知掲示板



アクションアワード 表彰団体



ショートドラマ「地域福祉支え合い推進員って?」

## 地域行事への参加

地域福祉アクションプログラム推進協議会の啓発、地域のみなさんとつながるため、地域で開催されている行事に参加しています。



「豆つかみゲーム」「缶バッチづくり」で行事を盛り上げます！アクションのロゴが入ったピンクのジャンパーを着ています。見かけたら声をかけて下さいね★

## キラッとプロジェクト

「キラッとプロジェクト」は高齢者も子どもも、障がいのある人もない人も、生きていく上で必要な情報は何だろうと考えたことから発足しました。

“もしものとき” 皆さまを助けるアイテムの一つになることを目的に「いのちまもるあしや～減災リーフレット」、 「いのちまもる わたしノート」があります。ぜひ使ってみてください。



芦屋市保健福祉センター2階ボランティア活動センターにて配布しています。お声かけください。

## わがまちベンチプロジェクト

人と人がふれあい、つながるきっかけづくりとしてできたプロジェクトです。

「1町に1台」を目標に、現在、20台が設置されています。

令和元年度では、朝日ヶ丘町にあるコミュニティスペース「ふらっと」に1台設置。こちらは、テーブルと椅子がセットになったものでたくさんの方が座れます。



コミュニティスペース ふらっと

また、「高浜町ライフサポートステーション」の4階に1台設置しました。シンプルな木のベンチです。



茶屋之町さくら通り

令和2年度、茶屋之町自治会では、さくら通りに背もたれのないベンチを設置。

桜が満開の時期は市内外から来られた方々がベンチに座って桜を見ておられます。



高浜町ライフサポートステーション

このプロジェクトを始めて少しずつベンチが増え、ベンチに座って楽しくおしゃべりされている姿を見ると嬉しいですね。これからもこのプロジェクトを広げていきたいと思っています。

## あしや発信局玉手箱プロジェクト

「いつでもだれでも情報は発信できる」を合言葉に、暮らしに役立つ情報をやり取りできる、住民同士の情報発信を目指します。

今や情報ツールとして、欠かすことのできないスマホを、上手に使いこなそうという思いから始まった“スマホ講習会”。令和2年9月には兵庫県警サイバー犯罪対策課によるサイバー犯罪防止教室を開催しました。

また、高齢者と学生が1対1でスマホの便利な使い方やアプリ登録にも挑戦した“スマホカフェ”を開催しました。この試みは各地区に少しずつ広がり、高齢者と市内高校生の憩いの場になってきています。

さらに、視覚に障がいのある方へのスマホ講座を、神戸アイライト協会の協力で開催しました。

今後も、住民同士の情報発信やつながりを楽しみながら広がっていきたいと思います。



茶屋之町自治会 スマホカフェ



視覚障がいのある方向け スマホ講座

## NEW おもいをつなごう！プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の影響から、人と人が集まる活動が難しくなりました。

コロナ禍で困ったこと、不安だったこと、コロナ禍でもできることを推進協議会で話し合い、2つの交流会が実現しました。

### エルホーム芦屋と宮川幼稚園の交流

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、高齢者の方々に、幼稚園児とふれあう事で、楽しく元気になっていただければとの思いから交流が再開しました。



宮川幼稚園 園児のみなさんの作品

まず、令和2年11月に宮川幼稚園の園児達が高齢者施設のエルホーム芦屋を訪問しました。コロナ禍で、高齢者の方々と直接会うことは出来ませんでした。園児たちは、集めたリングプルや立体的なさつま芋ほりの絵、どんぐりで作った人形などを届けました。リングプルで交換した車いすを見て、園児たちはちょっぴり誇らしげでした。後日、デイサービスの利用者からも園児たちにお礼のおたよりが届き、楽しい交流ができました。

これからもこのような心温まる出会いの場をつくれるよう、プロジェクトを進めていきたいと思っています。

### 高校生×高齢者 ZOOM 交流会

コロナ禍で交流の機会が少なくなっている中、高校生と高齢者におしゃべりを楽しんでもらおうと企画しました。

令和2年12月に翠ヶ丘町集会所で老人会の方々と甲南高校生がZOOMで、1対1のおしゃべりを楽しみました。

令和3年3月には、呉川町チャットるーむ、茶屋之町自治会の方々、甲南高校生、総勢48名に参加していただきました。保健福祉センター、西蔵・茶屋之町集会所に分かれて、40分ほど1対1のおしゃべりを楽しみました。最後に甲南高校生作成のCM動画を視聴しました。

参加者からは、「世代を超えた交流になった」「高校生がとても丁寧に優しく良かった」「80代にして新しいことに挑戦できた」「もっと開催して欲しい」などのお声をいただきました。



ZOOM 交流会